

1	事業名称	冬の親子キャンプ			
2	新規・継続	継続	2年目		
3	趣旨	国立信州高遠青少年自然の家で冬の自然を満喫し、参加者同士でかかわりながら体験活動を行うことで、達成感を味わったり、参加者同士の交流の輪を広げたりする。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	2015年2月28日(土)	～	2015年3月1日(日)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	60人			
7	共催・協力・後援				
8	参加者人数	50人			
9	参加者類型	未就学児4人、小学生21人、保護者25人			
10	参加者地域	長野県33人、愛知県7人、岐阜県4人、埼玉県2人、東京都4人			
11	参加者分析	・参加者の3分の2程度が当施設の事業へ初めての参加であった。うち半数がチラシを見ての参加であった。チラシ配布は上伊那地区、諏訪地区に限定したが、地区を限定してのチラシ配布は効果的であったと思われる。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		100%	0%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に表せないほど楽しかった。冬にもキャンプが楽しめて良かった。 ・ボランティアが元気いっぱい良かった。 ・同じグループのご家族と楽しく交流できて良かった。他県の方々と交流できるいい場所となった。 ・自分たちでの雪のまちづくり、新しいアイデアを見て大変感動しました。キャンドルが灯っている景色が本当に良かったです。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ単位で活動を行ったため、グループ内の参加者同士の交流が至る所で生まれていた。親同士、子供同士の横のつながりのみならず、親子ではない大人と子供の交流も見られ、参加者それぞれが多くのかかわりを持っている様子が見られた。 ・アンケートには「ボランティアのおかげで助かった、楽しく過ごせた」という記述が見られ、ボランティアをグループにつけたことで、ボランティアが参加者同士をつなぐ役割となっていた。 ・雪のまちづくりでは子供はもちろん、大人も熱心にまた楽しそうに取り組んでいる姿があった。保護者の方にも参加者として純粋に楽しんでもらえたと思われる。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムにゆとりを持たせたが、間延びしてしまい、子供たちが飽きてしまう場面も見られた。ゆとりをもった活動時間を確保するにしても、参加者の動向に応じてこちらから新たな投げかけを行うことが必要である。 ・ボランティアの立ち位置がやや不明確であった。多くの場面では共に活動したが、事業補助を行ってもらう場面では参加者との距離が離れてしまった。事業、参加者のニーズに応じてボランティアの関わり方を考えなければならない。参加者の声にも交流会で共に交流したかったという声もあった。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容もさることながら、参加者同士、ボランティアとの交流についても満足していただいている様子が見られた。共に活動を行うことで、楽しさや達成感を共有し、活動の満足度につながっていたように思われる。 ・宿泊棟交流会を行うために広間の広い宿泊棟を設定した。交流を行うには効果的であったが、反面、部屋数が確保できなかった。今回は対象を小学校中学年以上に設定したこともあり、参加者に応じて宿泊棟の割り振り方を検討する必要がある。 ・今回は天候、積雪に恵まれたが、それらに大きく左右されるため、荒天時、積雪不足時でも参加者の方に満足いただけるプログラムを用意しておくことが必要である。 			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当
2月28日(土)	1日目	
10:00～10:40	受付	
11:00～11:15	開会式	国立信州高遠青少年自然の家 職員
11:15～12:00	アイスブレイク	法人ボランティア
12:00～13:00	昼食	
13:00～16:00	雪のまちづくり	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
17:00～18:00	夕食	
18:00～18:30	スノーキャンドル点火式	国立信州高遠青少年自然の家 職員
18:30～20:00	入浴	
20:00～21:30	宿泊棟交流会	
22:00	就寝	
3月1日(日)	2日目	
7:00	朝のつどい	国立信州高遠青少年自然の家 職員
7:20～9:00	朝食, 清掃	
9:30～11:00	軽食タイム	国立信州高遠青少年自然の家 職員 法人ボランティア
11:30～11:45	閉会式	国立信州高遠青少年自然の家 職員



アイスブレイクで初めての交流



雪のまちづくり
大人も子供も夢中になりました。



自作の雪のベンチでココア休憩



スノーキャンドルで雪のまちが灯されました



軽食タイム
マシュマロ、ウインナー等をあぶりました



最後に集合写真